

# 「5つ星の自治を求めて」

自治のかたち検討プロジェクトチームが発足して5ヶ月が経過し、このたび市町村長に対して中間報告を行いました。

プロジェクトチームは、利害関係にとらわれることなく、将来にわたって富良野圏域5市町村が支え合い、助け合い、認め合い、自ら考え行動し、小さくてもキラリと光る「5つ星」と、住民が納得できる「5つ星クラス」の行政サービス」を求め、調査・検討・論議を重ねてきました。

「自治のかたち」とは、自らが望むべき、目指すべき理想の姿自治に向かつて、それらを実現するための手段《かたち》です。これは国や北海道から一方的に指示されるのではなく、そこに住む住民や、自治体自らが考え、選択すべきものです。

地方自治には「団体自治」

として自治体の「行政サービスを提供する経営の自治」を目指した努力とともに、「住民自治」として住民の積極的な「参加による自治」が必要です。

そこで、「団体自治」には地域の課題を広域的に処理し、必要な事務事業の集約化と機能分担を図ることで財政支出を過度に増やさないよう、連携・共同・協力などの方向に向かうことで新たな可能性が生まれる場合があります。

また、「住民自治」には、身近な地域でコミュニティを単位として、きめ細かく進める方向に向かうことで住民主体による取り組みが生まれる可能性があります。「自治」とは「自ら考え自ら責任を持って行動すること」ならば、小さな単位を尊重、優先する「住民自治」は地方自治の本旨であり、行政サービスの提供

を行う「団体自治」は「住民自治」を実現する手段です。

住民自治の確立に向け、住民と行政が参加と協働を進めていくためには、住民

や地域、NPOなどが公共サービスの受け皿となり、その領域を拡大することが望まれ、市町村は行政サービスの向上と効率化を目指して、団体自治強化に向けた取り組みをする必要があります。

このことからプロジェクトチームではその手法として市町村連携、広域連合、

市町村合併、広域都市の4つの団体自治の「かたち」を選定しました。

問い合わせ先

「自治のかたち」検討プロジェクト 39 2311

ホームページで検討状況を掲載していますのでご覧ください。

ホームページアドレス  
<http://www.nakatano.jp/ji/index>

